

(4) くだものづくり

会津高田町でつくられている主なくだものは、りんご、身不知がき、高田梅、プラム、ぶどうなどです。

高田梅は、会津高田町の特産物として、むかしからさいばいされてきました。いまさいばいされている梅の中では一番実の大きい品種です。会津の人は、古くからこの梅を「梅漬け」や「梅酒」として利用してきました。

会津高田町でつくられているりんごの品種は「ふじ」「つがる」「ジョナゴールド」など6しゅるいくらいあります。とれたりんごは、町にある選果場に集められ、そこで形や大きさをそろえて箱づめにされ、東京や会津若松市などの青果市場へトラックで送り出されます。



▲かきづくり



▲りんごづくり

りんごづくりとJAの働き

りんごづくりと農業協同組合（JA）とは、とても深いつながりがあります。たとえば、高田地区や永井野地区にある選果場は、JAがお金を出してたてたものです。